## 2-9 日本海中部地震前後の地殻変動

Continuous Observation of Crustal Movement before and after the Central Japan Sea Earthquake

> 東北木学 理学部 Faculty of Science, Tohoku University

第4次地震予知計画において,東北大学では昭和55~57年の3ヵ年で地殻活動総合観測線 を完成させた。この観測線は二つの特定地域及び内陸の活断層地域を通り,東北日本弧を南東 から北西方向に横断している(第1図)。1983年5月26日の日本海中部地震(M = 7.7)はこ の観測線の延長上に起こり一番近い男鹿(OGA)観測点までの震央距離は約80kmであった。 今回は総合観測線の主な観測点において伸縮計及び水管傾斜計により観測された結果について 報告する。観測線完成前の1981年12月までの結果は既に報告<sup>11</sup>されている。第2図と第3図 はOGAとNIBの水管傾斜計による観測結果である。第4図から第10図までは総合観測線で新 設された観測点の傾斜観測結果である。第11図から第25図までは伸縮計による観測結果を震 央距離の順に示してある。ここでOGA,FUT,NIB及びHOJに関してStraip step は取り 除いてある。第26図は観測値に予測フィルターを適用した一例でOGAの伸縮計による最大せ ん断ひずみについて示してある。30日の値を用いて5日先の値を予測し,観測値と予測値の差 も示してある。いずれにも地震の前兆と考えられる異常な変化は認められない。

また東北大学では1978年9月の青森県岩崎村付近(第27図)の群発地震発生後,基点を設置 して距離測定を実施<sup>2)</sup>したが日本海中部地震後に再び距離測定を行った。その結果が第28図に 示されている。

## 参考文献

- 1)東北大学理学部:東北大学における地殻変動連続観測(ひずみ, 1981年12月まで及び北 阿武隈地殻変動観測所における結果),連絡会報,29(1983),29-35.
- 2) 佐藤俊也他:青森県西海岸(岩崎村付近)の群発地震(Ⅱ)―地震活動と地殻変動について
  一, 地震, 36(1983), 63-75.





Crustal Movement Observatory

140 E

142E

42N







Fig. 2 Results observed by water-tube tiltmeter at the OGA observatory and vector diagram of maximum descending tilt direction.



第3図 仁別(NIB)観測所における水管傾斜計により観測された最大下降ベクトル図 Fig. 3 Vector diagram of maximum descending tilt direction observed by water-tube tiltmeter at the NIB observatory.



第4図 五城目 (GJM)観測所における水管傾斜計による観測結果及び最大下降ベクトル図 Fig. 4 Results observed by water-tube tiltmeter at the GJM observatory and vector diagram of maximum descending tilt direction.



第5図 西木 (NSK)観測所における水管傾斜計による観測結果及び最大下降ベクトル図

Fig. 5 Results observed by water-tube tiltmeter at the NSK observatory and vector diagram of maximum descending tilt direction.



第6図 田沢湖(TAZ)観測所における水管傾斜計による観測結果及び最大下降ベクトル図 Fig. 6 Results observed by water-tube tiltmeter at the TAZ observatory and vector diagram of maximum descending tilt direction.



第7図 沢内(SWU)観測所における水管傾斜計による観測結果及び最大下降ベクトル図 Fig. 7 Results observed by water-tube tiltmeter at the SWU observatory and vector diagram of maximum descending tilt direction.



第8図 和賀(WGA)観測所における水管傾斜計による観測結果及び最大下降ベクトル図 Fig. 8 Results observed by water-tube tiltmeter at the WGA observatory and vector diagram of maximum descending tilt direction.



第9図 大東(DIT)観測所における水管傾斜計による観測結果及び最大下降ベクトル図 Fig. 9 Results observed by water-tube tiltmeter at the DIT observatory and vector diagram of maximum descending tilt direction.







-75-









第15図 西木 (NSK)観測所における伸縮計による観測結果 Fig. 15 Results observed by extensometers at the NSK observatory.



第16図 田沢湖(TAZ)観測所における伸縮計による観測結果 Fig. 16 Results observed by extensometers at the TAZ observatory.





E ....

S=10-4



-79-













第26図 男鹿 (OGA)観測所における最大ひずみ変化,その予測値及び (観測値 – 予測値) Fig. 26 Maximum shear strain, it's predicted value and observation minus prediction for the OGA observatory.









## (b)

×10<sup>-6</sup>

Horizontal Strain IWASAKI Network



